

健診システム機能要望書

項番	分類	機能・項目	No	業務機能要件等
1	共通	基本機能	1	入力必須項目が画面上で分かること
			2	各業務の注意事項を残し、参照できること
			3	契約、団体、受診者、予約等業務に合わせたメモを登録でき、各業務行程にて参照できること。また、メモの変更履歴が参照できること。メモの種類はマスタにて自由に追加できること
			4	同姓同名（同一カナ氏名）の受診者が受診する場合に、各予約者一覧等にて同姓同名者が一目で判別できる機能があること（同姓同名者は色つきで表示されるなど）
			5	各種一覧画面（受診者一覧、団体一覧、予約者一覧、受付者一覧、入力対象者一覧、未請求一覧、未収一覧、請求一覧（以下、※1））の表示項目の並び順が設定でき、その情報は、ログインユーザー毎等にて登録できること
			6	各種一覧画面（※1）の表示項目が設定（列の表示または非表示及び列幅、表示倍率変更）でき、また、その情報は、ログインユーザー毎等にて登録できること
			7	各種一覧画面（※1）は、条件を指定して対象を絞り込みことができること またフィルター機能として、複数選択や文字検索、文字色背景色指定ができること
			8	各種一覧画面（※1）は、一覧画面上より簡単な操作でExcel出力ができ、運用帳票として活用できること
2	セキュリティ	健診データ保護機能	9	ログインユーザー単位で、初期メニューの設定ができること
			10	ユーザーID（職員コード）とパスワードの入力で利用可能なこと
			11	ログインユーザー毎に、マイメニューの登録ができ、自分専用のメニューが作成できること
			12	業務に支障を出さないため、必要時はロック者以外が強制的に解除が可能なこと
			13	ログインを行ったユーザーに合わせた処理メニューが起動できること（マスタ管理等）
			14	操作ログが記録され、異常時に追跡調査が可能なこと
			15	操作ログとして確定した健診データの保護機能を有すること ・全データの新規登録、変更、削除の操作ログ ・帳票印刷、データ外部出力、結果参照（外部からの参照）ログ ・予約変更詳細ログ ・個人属性の参照ログ
3	他システム連携	電子カルテ・各検査システム (医事システム連携) (検体検査システム連携) (各検査システム連携)	16	電子カルテ・各検査システムと連携が可能なこと
			17	電子カルテ・各検査システム連携については導入時に支障がないよう、業者間で打合せを行うこと
			18	外来診療時に電子カルテ端末で健診結果が確認出来ること
			19	受診者属性は、医事システム連携との連携により取得できること。連携する受診者属性は、氏名（漢字、カナ）、住所、保険情報、電話Fax等とする（IDの連携）
			20	検査システムから結果の取込みが可能なこと
			21	結果取込時エラーを通知できる機能を有すること
			22	各検査システム（F-report・NEXUS・検査システム等）から読影結果を電子カルテや健診システムで取り込み、もしくは参照が可能なこと
4	メニュー		23	メニューに業務連絡メモの書込みができ、システム利用者間で参照できること また、日別の予定も書込みおよび参照ができること
			24	メニューにて今日の受診者数と受付状況を確認できること。また簡単な操作で、検査別の受診人数や男女別、午前/午後別人数も確認できること
			25	メニューにてメールや掲示板等の新着情報（タイトル、送信者、送信日時等）を確認できること システム起動中、新着情報は定期的にチェックし、情報共有ツールとして活用できること
			26	ログインユーザー毎に、マイメニューの登録ができ、自分専用のメニューが作成できること
5	団体設定		27	団体コードは10桁程度で管理でき、また枝番管理もできること。自動発番など番号管理のメンテナンスがしやすいこと
			28	団体の名称は、画面表示名称、印字名称、フリガナ、検索名称が管理でき、用途別（システム機能別）に名称の切り分けができること
			29	団体の住所登録は、郵便番号と住所コード（JIS）にて簡易に登録できること
			30	団体住所は、住所1、住所2等の分割管理ができること。また住所は発送先住所を別途管理でき、送付物（案内表、成績表、成績表控え、請求書）毎に発送先住所を登録できること
			31	団体への問合せ先である先方の担当部署、担当者を管理できること

健診システム機能要望書

項番	分類	機能・項目	No	業務機能要件等
			32	案内表や成績表および成績表控えの発送先が管理できること。また、一覧表等の任意の帳票（複数指定可）に対しての発送先も管理でき、出力帳票毎に出力部数、印刷順の指定ができること 複数施設運用時は施設ごとに管理できること。
			33	発送物の管理は予約、結果、請求など業務帳票毎に発送先を指定できること
			34	契約コース毎かつ申込団体毎に案内（問診票）や結果票および結果票控えの発送先を管理できること
			35	契約コース毎かつ申込団体毎に、受診可能期間を設定できること また、期間内の複数受診を不可とする設定ができること
			36	特定健康診査の結果を国指定の標準フォーマットデータ（XML）にて提出するかどうかを設定できること。また、XMLデータの提出先（医療保険者、代行機関）や健診情報ファイル、決済情報ファイルの要/不要、対象者の年齢や保険本人区分も設定できること
			37	団体に関するコメント情報（団体の特徴、注意事項等）が管理できること。また、コメントの種類分類は、ユーザー側にて自在に追加できること。それらの情報は、それらの情報を必要とするシステム機能にて参照できること
			38	団体又はグループ単位で部署が管理できること。 また、部署情報として住所、担当者情報等も管理でき、団体向け帳票の発送先として部署の指定もできること
			39	契約団体との営業担当者および予約担当者が管理できること。複数施設運用時は施設ごとに管理できること
			40	団体の所属受診者が一覧表示できること。また一括で部署、職種、保険情報の変更ができること
			41	団体の分類が設定できること（事業所、保険者、代行機関等）
			42	団体での受診状況および予約状況が月別、日別で参照できること
			43	団体に関するファイル（見積書、特記事項等）、フォルダを管理できること
			44	団体の基本情報（名称、住所、保険者番号等）において、変更履歴が参照できること
6	受診者設定		45	将来的な受診者増に備え、受診者IDを10桁程度にて管理できること
			46	受診者の基本属性（住所、電話番号、携帯番号、連絡先、Eメールアドレス）が管理できること
			47	受診者の住所は、住所1、住所2等の分割管理ができること。また住所は発送先住所を別途管理できること
			48	日本語氏名の入力で、自動でカナ氏名が入力されること
			49	受診者の住所登録は、郵便番号と住所コード（JIS）にて容易に登録できること
			50	受診者の所属団体情報（部署、社員番号、職種、備考等）が管理できること
			51	受診者毎に保険情報（保険者番号、保険記号、保険番号、本人区分）を複数管理できること
			52	受診者の旧姓が管理でき、旧姓でも検索ができること
			53	個人情報保護の観点から健診結果の利用に関する情報（同意する同意しない未回答）を管理できること
			54	受診者からの問合せ対応として、受診者属性画面から過去の受診歴および健歴の参照ができること（前回の受診コース、オプション等の確認）
			55	受診者からの問合せ対応として、受診者属性画面から予約状況を確認し、予約の変更ができること（予約日時、コース、オプションの変更等）
			56	転職時の前職受診分など、受診者の健歴毎に結果表の過去歴として印刷するかどうかを変更できること
			57	受診者の夫婦等の属性関連が登録できること
			58	受診者に関する各種コメント（受診者の特徴、注意事項等）が管理できること。また、コメントの種類分類は、ユーザー側にて自在に追加できること。それらのコメントは、それらのコメントを必要とするシステム機能にて参照できること
			59	新規受診者に対して、仮IDを発行できること。また受診者ID確定後に振替えができること
			60	受診者からの問合せ対応として、ID/カナ氏名、生年月日、電話番号、漢字氏名、所属団体、保険記号等による検索ができること。また、受診歴の有無や最終受診日での検索もできること
			61	受診者に関するファイル（同意書、紹介状等）、フォルダを管理できること
			62	受診者の基本情報（ID、氏名、生年月日、性別、住所、保険情報、所属情報等）において、変更履歴が参照できること

健診システム機能要望書

項番	分類	機能・項目	No	業務機能要件等
			63	団体から提示される受診者情報（CSV形式またはEXCELファイル）を取込み、受診者情報の更新ができること
			64	受診者情報の取込みにおいて、予約情報（受診希望日、コース、オプション等）や特定健診受診券情報（整理番号、有効期限）の取込みも可能であること
			65	受診者IDを二重採番した場合に、IDの統合が可能であること
7	契約	契約内容設定	66	契約先ごとに、受診可能なコースおよび検査内容が設定できること
			67	契約はコース毎に有効期間が設定でき、年度単位でも複数年単位でも作成できること
			68	契約コース毎に、受診条件（年齢、性別、本人／家族、職種、協会けんぽ保険、一般／任意継続／特例退職、健保加入、退職者、配偶者等）が設定できること また、年齢条件として「75歳誕生日まで」の指定ができること
			69	契約コース毎に年齢起算日の設定ができること（受診日年齢、年度末年齢、12月31日年齢、年度初年齢、受診当月末年齢等）
			70	契約における負担先は、複数（5か所以上）登録できること
			71	オプション毎に、受診可能条件、負担金額が設定できること また、受診条件間で負担金額設定が簡単にできること
			72	検査中止時の減算金額が設定できること
			73	検査中止検査を設定できること。また、検査中止時の警告メッセージも自由に設定できること
			74	契約先毎のオプション（コースに関係ない共通のオプション）が受診条件および有効期間付きで設定できること。また、オプションごとに受診可能コースを設定することもできること
			75	受診条件、負担先ごとに上限金額が設定でき、上限金額を超える場合は、設定した振替先に自動で振替えされること
			76	契約に関する各種補足情報（契約時の注意事項等）が管理できること。また、コメントの種類と分類は、ユーザー側にて自在に追加できること。それらの情報は、それらの情報を必要とするシステム機能（予約時及び請求時等）にて参照できること
			77	請求先の団体毎に税計算の方法（明細毎、請求書毎、内税/外税）が設定できること
			78	個人オプションが受診条件および有効期間付きで設定できること
			79	市町村共通オプション（がん検診等）が受診条件および有効期間付きで設定できること
			80	複数団体で共有できる共通契約を作成できること
			81	テンプレートからコピーして簡単に契約が登録できること
			82	契約先ごとに事業者オプションを登録できること
			83	契約を変更する場合、その契約を使用している予約の一覧が参照できること
			84	各種条件（コース、請求書単位、検査、オプション等）による検索ができること
			85	契約内容の確認書が印刷できること
		契約改定※	86	団体、コース、検査、オプションの条件で改定対象の契約を検索できること
			87	契約毎に改定状況（改定済みかどうか）が確認できること
			88	複数の契約に対して一括で改定を行うことができること。改定後の契約有効期間、契約状態（仮契約／本契約）を指定できること
			89	改定不要な契約に対しては一括で有効期間の終了日を更新できること
			90	複数の契約に対して一括で金額変更を行うことができること。金額の一括置換、消費税の一括再計算ができること。また、請求明細別に金額設定を確認でき、契約間での金額差異を確認できること
			91	複数の契約に対して一括で検査追加または削除を行うことができること
8	健診準備業務	予約業務	92	個人・団体の予約申し込みの予約ができること
			93	予約時に契約毎に受診可能なコース、金額（請求方法、契約毎の金額）が表示されること

健診システム機能要望書

項番	分類	機能・項目	No	業務機能要件等
			94	個人および契約のコメント情報の参照ができること
			95	個人からの予約時に予約コメントが入力できること。コメントはテンプレートから選択しての入力も可能であること
			96	予約時に時間の指定、受診しない検査または後日受診する検査の指定、検査日が複数日にわたる場合の検査日の設定ができること
			97	後日検査を受診する場合の予約管理ができ、かつ、検査枠も管理できること
			98	後日受診検査指定時は、後日受診用の予約を連続して登録できること
			99	予約時にコース、オプション別の負担金額（負担先含む）が確認できること
			100	個人からの予約時に受診者属性情報、受診歴（過去に受診したコース、オプション、負担情報）が参照できること
			101	特殊健診（有機溶剤又は特定化学物質）において、溶剤毎に必要な検査を自動追加できること。このとき、検査の重複実施や重複請求を防ぐ考慮があること
			102	問合せ時に希望人数、希望検査、希望コースによる空き枠検索ができること
			103	予約の変更（日付、コース等）ができること。検査内容が変更になった場合は、検査と金額の差異がないかが画面上で確認できること
			104	予約変更の履歴が参照できること
			105	個人の予約時に、発送先や発送状態が確認できること。個人別に発送先を変更できること
			106	夫婦やグループ受診の有無が確認できること
			107	コース枠は、曜日別、時間別、性別、コースのグループ毎に設定できること
			108	各検査は、時間指定ができること
			109	コース、検査毎に予約可能な最大人数が設定できること。枠人数は、時間毎や性別毎に設定できること
			110	祝日が事前に設定でき、カレンダー作成時に休日として扱われること
			111	1画面で予約状況カレンダーが参照できること。また、日別、枠別に予約数、空枠数が確認できること
			112	予約状況の日付を選択することにより、予約団体及び予約者の一覧が参照できること。また、予約者を選択して予約の変更、受診歴の参照ができること。
			113	予約状況は、コース枠、検査枠、時間帯による絞り込みができること
			114	コース、希望検査、希望曜日、期間を指定した空き枠の検索ができること。このとき、複数人を指定した空き枠の検索もできること
			115	予約日の変更は、簡単な操作で実現できること
			116	キャンセル待ち予約ができること
			117	団体指定による人数、コース、検査の枠予約ができること
			118	団体指定による枠予約において、複数の受診日に対して一括で人数を入力できること
			119	団体枠の受診可能団体として複数の団体を指定できること
			120	団体枠の受診者未割当分を他団体の団体枠として振替えできること。また、個人枠としての振替えも可能であること
			121	団体から提示される受診者情報（EXCELファイルまたはCSVファイル）から一括予約ができること。受診者情報ファイルにはオプションの指定もできること。また、昨年度所属一覧からの一括予約も可能であること
			122	一部検査を後日に受診する場合に、後日受診コースを予約管理できること
			123	予約キャンセル機能があること。キャンセルしたデータは予約歴として管理されること
			124	複数の予約に対して一括でキャンセルまたは削除できる機能があること

健診システム機能要望書

項番	分類	機能・項目	No	業務機能要件等
			125	IDがない受診者に対して、仮予約する機能があること
			126	検査やオプションの受診対象者や帳票の出力状況、予約の最終更新日、更新者等の様々な条件で予約の検索が行えること。検索結果は個人だけではなく、団体単位に集計して表示もされること
			127	複数の受診対象者に対して一括で受診日、予約時間、コース、オプションを変更できる機能があること
			128	予約締切直前に仮予約者（受診者が未割当）を検索する機能があること。受診されない場合は予約枠を解放できること
		案内発送	129	団体または契約セット別に必要な発送物および発送先が管理できること
			130	案内発送一覧より、複数帳票のセット印刷ができること
			131	発送時に同封する便検査の有無等、検査対象者の確認ができること
			132	受診者毎の発送物を確認した日付と確認者を保存することができること
			133	案内物を発送した日付の管理ができること
			134	案内発送一覧より、帳票の印刷状況及び発送状況を確認できること
			135	案内帳票印刷後に予約変更されている場合は、警告が表示されること
			136	事業所単位に帳票の出力順が登録でき、自動でソートされて出力できること
9	健診当日業務	受付業務	137	受診日当日の予約者一覧を表示し、予約者を選択して受付ができること
			138	受付画面一覧上の受診者を、ID（バーコード読み）で選択ができること
			139	受付画面一覧上の受診者を、カナ氏名で絞り込み表示ができること
			140	受付画面では、受診者および予約のコメントが表示できること
			141	受付時に受診者属性、予約内容、金額等の変更ができること
			142	受付時に確認が必要な項目（便検査提出本数、受診資格確認等）が表示され、チェック入力が可能であること
			143	受付で確認した項目は、一覧形式で確認ができること
			144	受付時に請求する場合、受付時請求及び領収書の発行ができること
			145	予約外の飛び込み受付ができること
			146	一括して受付を行うことができること。受付番号は手動でも採番可能であること
			147	各種条件（コース、団体、時間、性別、状態（未受付、受付済、キャンセル）、ID/カナ氏名、社員番号）による検索ができること
			148	同一日複数受診、または関連予約があることが画面上で確認できること
			149	当日に予約が存在しない場合でも、指定された期間内の予約を表示し、選択して受付ができること。この場合は、（電子カルテ含）受診日が自動で変更されること
			150	検査終了の登録ができ、終了時間が保存されること
10	入力業務	OCR入力	151	問診票測定シート用の用紙をOCR活用し、データの取込ができ、読み取りエラーの場合は、データの修正登録ができること
			152	OCR帳票の印刷と読取りからデータ更新までが可能なこと
		結果入力業務	153	過去の問診回答を今回の問診回答にコピーできること（既往歴等）
			154	結果入力は、受診者別入力と検査項目別入力（検査項目毎に結果を連続入力）ができること
			155	受診日、受付番号、コース、団体、受診者ID、による受診者の検索ができること

健診システム機能要望書

項番	分類	機能・項目	No	業務機能要件等
			156	受診者別の入力画面にて前回値の結果の参照ができること
			157	数値入力は、入力上限値及び入力下限値のチェックが可能であること
			158	結果入力の進捗が確認できること
			159	結果が異常値の場合は、結果値が色で表示されること
			160	定性値、所見は、ガイドランスから選択した入力ができること。また、所見については、組合せ（部位部位所見等）入力ができること
			161	複数検査項目に対して結果をセット入力できること（異常なし=A判定等）
			162	所見の入力は、マスタから選択後に修正ができること
			163	過去の所見や問診などを今回結果に使用できること
			164	全項目を一覧表示して結果の入力ができること
			165	判定一覧から対象の検査入力欄へジャンプができること
			166	オプション検査が入力画面上で判別できること。また、個人オプションか事業所オプションかも判別できること
			167	判定パターンを切り替えて入力できること。（病院判定、協会けんぽ判定、健保指定の判定基準等）
			168	対象者一覧画面で検査種別単位での入力状況が確認できること。また検査種別を指定して、検査別詳細も確認できること
			169	対象者一覧画面で判定の入力状況が表示できること
			170	検査種別、検査日、入力画面を指定して対象者を検索でき、入力画面単位で結果入力状態（未入力、保留、入力済）を管理できること
			171	判定入力時に、問診の内容が参照できること
			172	予約毎に検査結果の確定処理が実施でき、確定した検査結果については保護できること
			173	検査項目別に受診者を一覧表示し、連続で結果入力ができること。また、受診者全員に一括入力（正常値の一括入力）ができること
			174	結果入力画面で「後日」（検体忘れ、生理中による後日採尿等）、「未実施」の確認ができること
		判定支援	175	問診回答、所見、前回値比較、性別、検査項目間等により、判定が実施できること
			176	判定の条件はマスタにて自由に作成ができること
			177	判定の条件は、検査項目毎の正常基準値範囲、その他無段階に異常値の範囲設定と判定結果の設定ができること
			178	機能別判定、総合判定、総合所見が自動的に設定できること
			179	判定支援の条件から個人オプションで追加された項目を除く等、判定支援対象とする項目を制限できること
11	放射線部門	読影業務	180	放射線部では、健診で実施した検査の読影処理を行い、その結果を健診システムに入力している。この読影業務において以下に対応できること
			181	読影対象者のリスト表示が出来ること
			182	読影リストは未読影者のみの表示にフィルタリングできること
			183	読影機能には、検査毎に第1読影で完了。第2読影まで実施。第3読影まで実施など読影区分の管理が出来ること
			184	読影リストには、上記 1次読影、2次読影の判定を表示して、判定が違う受診者は色をつけるなど確認が必要な受診者の見分けがつく工夫がされていること
			185	読影リストから、読影入力画面が起動されること
			186	読影入力画面を起動する際、PACS画像が高精細モニタに自動的に表示されること

健診システム機能要望書

項番	分類	機能・項目	No	業務機能要件等
			187	画像の自動表示を満たすため、電子カルテ端末またはレポートシステム端末から画像が即時に表示されること。
			188	読影入力画面では、既往歴や喫煙情報など健診の問診情報が表示されること
			189	読影入力画面では、「異常所見なし」＋A判定を簡単な操作で登録できること
			190	読影入力画面には、部位の入力もれや所見の入力もれを防ぐ未入力チェック機能があること
			191	読影入力画面では、前回読影結果を表示できること
			192	読影入力画面では、前回読影結果を複写できること
			193	読影入力画面では、部位を入力しやすいよう画像で選択できること
			194	読影入力画面では、部位を指定した際、入力できる所見が絞り込まれること
			195	読影入力画面から、紹介状を作成できること
			196	前回判定が「要精密検査」で紹介状の返書がある場合に、読影時にその結果を参照できること
			197	2次読影の際、1次読影の結果が自動的にセットされていること
			198	最終報告結果は、1次読影と2次読影の判定が重い方を選択できること
			199	1次読影と2次読影の判定が同じ場合は2次読影を最終報告結果として自動的に採用されること
			200	読影入力画面では、所見を入力した際、デフォルトの判定が自動的にセットされること
			201	セットされた判定は、手入力に変更できること
			202	読影入力画面で、所見入力を行い更新する際、読影者がログイン者で自動的に更新されること
			203	読影入力完了後、次の受診者を自動的に表示する機能があること
			204	次の受診者に切り替えた際には、PACS画像も切り替わること
			205	PACS画像表示の際、画像を直接表示するか、シリーズ一覧を表示するか設定できること
			206	胸部X線検査では、塵肺検査時に画像を作成する。読影時にその画像を表示できること
			207	全ての読影結果および最終報告結果を電子カルテから参照できること
12	結果発送業務	結果出力業務	208	団体または契約セット別に必要な発送物および発送先が管理できること
			209	結果発送一覧より、複数帳票（結果報告書や精密検査依頼表等）のセット印刷ができること
			210	結果報告書の仮印刷、本印刷ができ、出力日を保存できること
			211	受診者毎の発送物を確認した日付と確認者を保存することができること
			212	出力日とは別で発送日を登録できること（任意）
			213	結果発送一覧より、結果報告書の印刷状況及び発送状況を一覧で確認できること
			214	仮印刷時のモノクロ印刷にも対応できること
			215	結果発送一覧より、任意の帳票を印刷できること
			216	結果報告書控えの出力管理ができること。結果報告書控えも出力日とは別で発送日を登録できること（任意）
			217	事業所単位に帳票の出力順が登録でき、自動でソートされて出力されること

健診システム機能要望書

項番	分類	機能・項目	No	業務機能要件等
		業務進捗管理	218	健診結果の入力状況を管理し、検査別結果入力、判定支援、発送、団体請求完了までの各工程を管理できること
			219	検査別結果入力時に未入力チェックができること。また、検査項目毎に入力ロックができること
			220	工程の未完了者を検索できること。未完了時は各工程に応じた処理を実行できること
			221	管理する工程（問診入力、検査別結果入力、判定支援、帳票出力、結果報告書印刷、発送、団体請求等）を自由に作成できること
			222	各工程をパターン化でき、職種別（事務用、看護師用、医師用等）の工程管理ができること
			223	受診者別の進捗と受診日別、申込団体別、コース別の全体進捗を確認できること
			224	各工程とは別で必須入力項目の未入力を検索できること。またチェック対象とする項目は、問診項目のみ、検査項目のみ、判定項目のみで絞り込みできること
			精密検査管理	225
		226		精査結果入力時に、一次健診の検査結果が参照できること
		227		受診日、コース、団体、受診者ID、追跡状況、帳票出力状態の条件で、精密検査対象者を検索できること
		228		精密検査対象者の追跡状況（返信有無及び検査結果）を一覧で確認できること
		229		精密検査の管理を行う検査については、マスタにて管理できること
		230		追跡中の精密検査対象者を検索でき、再案内帳票等を印刷できること。また、電話、メール等のフォローを実施した場合の実施内容等をフォロー実施日毎に入力できること
		231		追跡途中での追跡終了登録ができること
13	面談	ドック結果説明・当日保健指導	232	面談・指導の対象者を絞り込めること
			233	問診項目が確認できること
14	結果参照		234	前回の精密検査管理結果が確認できること
			235	今回の結果が表示、編集ができること
			236	受診者情報、受診歴が参照できること
			237	受診者を指定し、健診履歴及び結果データを画面表示させることができること
			238	健診端末以外（病院の外来診察室電子カルテ等）にて参照できること
15	請求業務	個人会計	239	URL連携により他システムの撮影画像等を参照できる機能を有すること
			240	個人負担金の請求ができること。また同時に入金処理も選択処理可能であること
			241	請求の際に、請求書兼領収書が発行できること
			242	受診日範囲、受診者、コース、団体にて請求対象者の絞り込みができること
			243	請求画面一覧上の受診者を、カナ氏名で絞り込み表示ができること
			244	受付前の予約に対しても請求書が発行できること
			245	健診項目以外のオプションも追加請求が可能であること
246	請求書の宛名および摘要が変更でき、請求書として保存できること			

健診システム機能要望書

項番	分類	機能・項目	No	業務機能要件等
			249	コースとオプションが分割請求ができること。分割請求時一括入金ができること
			250	複数の請求先を指定して一括請求処理ができること
			251	入金は、一部入金、全額入金に対応でき、入金方法（現金、振込等）も管理ができること
			252	請求書の取消ができること
			253	請求日や受診日、請求書の状態（完納、未収）、請求金額、未収金額の条件で、請求書が検索できること
			254	複数の請求書を指定して一括入金処理ができること
			255	入金日、入金方法で入金された金額を一覧表示できること
		団体会計	256	受診者の団体負担金を集計して、団体宛の請求書が作成できること
			257	団体、締め区分（全て、月次、随時）、受診期間にて請求対象者の検索ができること
			258	団体毎に請求書の管理ができ、請求書発行時に自動的に指定の書式にて印刷されること
			259	同一請求先でもコース単位で請求書を分割することができること
			260	複数の請求先を指定して一括請求処理ができること
			261	請求書の作成時に、一部の受診者または請求明細を請求対象外と指定できること
			262	請求書の宛名および摘要が変更でき、請求書として保存できること
			263	受診者明細のない請求明細（予防接種料等）を請求できること
			264	団体宛の請求書を手動で作成できること
			265	請求書の取消ができること
			266	請求日や受診日、請求先、振込口座名、請求書の状態（完納、未収）、請求金額、未収金額、受診者、団体の条件で、請求書が検索できること
			267	請求書の出力日を管理できること。また、出力日とは別で発送日を登録できること
			268	請求書に対しての入金ができること。複数の請求書に対して一括入金も可能であること
			269	振込手数料や回収不能金の管理ができること
			270	複数の請求書を指定して一括入金処理ができること
			271	入金日、入金方法で入金された金額を一覧表示できること
			272	請求日や入金日などの期間を指定して一覧帳票（団体請求一覧、入金一覧等）を印刷できること
		締め処理	273	指定月で締め処理ができること。請求先別に繰越金額、当月入金分、当月発生分、翌月への繰越し金額を集計できること
			274	過去に締めた金額が検索できること
			275	締め処理を取消できること
16	データ出力	汎用データ出力	276	健診システムにて管理する受診者属性、予約情報、健診結果を指定して抽出ができること
			277	既存ファイルへのデータ出力も可能であること
			278	受診期間、団体、コース等の抽出条件を指定してデータが抽出できること
			279	検査内容・結果値範囲・有所見者等での絞り込みも可能であること

健診システム機能要望書

項番	分類	機能・項目	No	業務機能要件等	
			280	抽出条件は保存可能とし、繰り返し同一条件による抽出ができること	
			281	抽出するデータの種類はマスタにて自由に作成ができ、基本的にシステム的全データが抽出可能であること	
			282	検査結果の項目判定や異常値区分の出力指定が可能であること	
			283	検査結果の出力条件から個人オプションで追加された項目を除く等、出力対象とする項目を制限できること	
			結果データ出力	284	提出先から指定されるフォーマットに基づき、出力できること
			285	データ出力対象者の抽出は、受付番号、年齢、生年月日、性別、団体、コース、受診者等の指定ができること	
			286	データ出力前にプレビュー表示ができること	
17	特定健康 診査業務	特定健康診査	287	受診券情報、保険情報の一括登録ができること	
			288	健診結果にて特定健康診査の階層化ができること	
			289	特定健康診査結果通知書が印刷できること	
			290	特定健康診査用の問診票、結果一覧表、階層化結果一覧表が印刷できること	
			291	対象者一覧画面から結果参照画面、受診券登録画面が呼び出せること	
			292	医療保険者（代行機関）に提出する国指定の標準フォーマット「交換用基本情報ファイル」、「特定健診情報ファイル」、「決済用情報ファイル」、「集計情報ファイル」の作成ができること。このとき、特定健康診査データの送付報告書も印刷できること	
			293	医療保険者以外の事業所に対しても標準フォーマットのデータを作成できること	
			294	代行請求ができること	
18	協会けん ぽ業務	協会けんぽ	295	協会けんぽへの請求ができること	
			296	一部検査を実施しない場合に、契約単価に合わせて個人負担金額が自動で計算されること	
			297	協会けんぽ情報提供サービスで、受診資格確認を行うためのCSVファイルを作成する機能があること	
			298	予約単位で、受診資格確認を行ったかどうか一覧で確認できること	
			299	受診者を選択して、請求処理ができること	
			300	協会けんぽ対象者の一覧を表示し、協会けんぽ受付番号、保険証情報、実施項目の確認及び修正ができること	
			301	協会けんぽ結果票が印刷できること	
			302	協会けんぽの請求書が印刷できること	
			303	協会けんぽデータ送付報告書が印刷できること	
			304	協会けんぽデータ出力ができること	
			305	協会けんぽの特定保健指導における血液検査等検査に関する成績表、請求書、請求内訳書が印刷できること	
			19	ツール	情報共有
307	掲示板への記載内容はテンプレートから選択しての入力が可能であること。テンプレートは利用者毎に登録できること				
308	掲示板の宛先は、直近の送信履歴から追加できること				
309	掲示板の送信履歴が参照できること				
健診タスクスケジューラ	310	定期的に行う汎用的な作業を健診タスクとしてスケジューリングし、健診業務の一部を自動実行できること			

健診システム機能要望書

項番	分類	機能・項目	No	業務機能要件等
			311	対象とする予約は、受診日、コース、検査、オプション等の様々な条件で検索できること
20	メンテナンス	マスタメンテナンス	312	基本設定はすべてマスタ化されており、必要に応じてマスタの追加、変更ができること
			313	各種マスタからマスタリストがExcelファイルとして出力できること
			314	マスタ変更削除において、変更削除前のデータが保存され、参照できること
			315	必要に応じてバックアップの自動化が可能であること（容易にデータの復元が可能であること）
21	帳票出力		316	帳票出力対象者の抽出は、受付番号、年齢、生年月日、性別、団体、コース、受診者等の指定ができること
			317	受診案内、検体ラベル、成績表などの帳票がExcel等で出力でき、個別に変更ができること
			318	帳票毎に出力するための基本条件、その他条件の設定ができること（コース、オプション、性別等による出力帳票の種類、部数の登録ができること）
			319	帳票出力時に改ページの条件、出力順の変更ができること
			320	帳票をセット化して印刷できること
			321	各帳票は印刷前にプレビュー表示ができること
			322	帳票毎に印刷するプリンタの設定ができること
			323	健診予約者に予約内容をご案内するための帳票が印刷できること
	324	各問診票が印刷できること		
	325	特定健康診査用の質問票が印刷できること		
	326	後期高齢者健診用の質問票が印刷できること		
	327	受診時の検査実施チェックに使用する帳票が印刷できること		
	328	健診用カルテの表紙が印刷できること		
	329	レントゲン検査の対象者を印刷し、照射録として使用できること		
	330	胸部X線検査の所見を記入する用紙が印刷できること		
	331	胃部X線検査の所見を記入する用紙が印刷できること		
	332	胃カメラ検査の所見を記入する用紙が印刷できること		
	333	心電図検査の所見を記入する用紙が印刷できること		
	334	乳がん検査の所見を記入する用紙が印刷できること		
	335	精密検査対象者に精密検査の追跡調査を行うための帳票が印刷できること		
	336	精密検査の実施が未確認の受診者へ受診状況を確認するための帳票が印刷できること		
	337	予約した日程を、企業、各健康保険組合に確認していただく帳票が印刷できること		
	338	団体への結果表発送時に使用する帳票が印刷できること		
	339	健診予定者の予約内容を確認する帳票が印刷できること		
	340	健診予定者の確認する帳票が印刷できること		
	341	オプション検査の確認に使用する帳票が印刷できること		
		案内文書	323	健診予約者に予約内容をご案内するための帳票が印刷できること
		問診表	324	各問診票が印刷できること
		特定健康診査質問票	325	特定健康診査用の質問票が印刷できること
		後期高齢者質問票	326	後期高齢者健診用の質問票が印刷できること
		受診票	327	受診時の検査実施チェックに使用する帳票が印刷できること
		健診カルテ	328	健診用カルテの表紙が印刷できること
		照射録	329	レントゲン検査の対象者を印刷し、照射録として使用できること
		所見記入用紙【胸部X線】	330	胸部X線検査の所見を記入する用紙が印刷できること
		所見記入用紙【胃部X線】	331	胃部X線検査の所見を記入する用紙が印刷できること
		所見記入用紙【胃管内視】	332	胃カメラ検査の所見を記入する用紙が印刷できること
		所見記入用紙【心電図】	333	心電図検査の所見を記入する用紙が印刷できること
		所見記入用紙【乳房】	334	乳がん検査の所見を記入する用紙が印刷できること
		精密検査のご案内	335	精密検査対象者に精密検査の追跡調査を行うための帳票が印刷できること
		再検査のご案内（精密検査）	336	精密検査の実施が未確認の受診者へ受診状況を確認するための帳票が印刷できること
		健康診断のご案内（団体向け送付状）	337	予約した日程を、企業、各健康保険組合に確認していただく帳票が印刷できること
		結果のお知らせ（団体向け送付状）	338	団体への結果表発送時に使用する帳票が印刷できること
		予定者一覧	339	健診予定者の予約内容を確認する帳票が印刷できること
		予定者確認リスト	340	健診予定者の確認する帳票が印刷できること
		オプション検査確認リスト	341	オプション検査の確認に使用する帳票が印刷できること

健診システム機能要望書

項番	分類	機能・項目	No	業務機能要件等
		案内発送一覧（個人別）	342	個人別に発送メモと同封物の有無を確認する帳票が印刷できること
		個人別売上確認用リスト	343	オプションの確認と負担先別の負担金額を確認する帳票が印刷できること
		団体別予定者名簿	344	団体への予約者確認用（所属、保険）の名簿が印刷できること
		団体別予定者名簿（検査確認用）	345	団体への予約者確認用（所属、保険、検査）の名簿が印刷できること
		団体別予定者名簿（オプション確認用）	346	団体への予約者確認用（オプション検査）の名簿が印刷できること
		案内発送一覧（団体・コース別）	347	団体への案内発送に使用する帳票が印刷できること
		団体別負担先一覧	348	受診団体、受診明細別に負担先と金額を表示し、契約確認に使用する帳票が印刷できること。
		団体別予約枠一覧	349	年間で団体へ枠取した日程を確認する帳票が印刷できること。
		予約内容変更一覧	350	予約変更された内容を出力する帳票が印刷できること
		月間予定表（枠別）	351	月間のコース、検査枠別の予定者人数を確認する帳票が印刷できること
		月間予定表（健診区分別）	352	月間の健診区分別の予定者人数を確認する帳票が印刷できること
		月間予定表（検査別）	353	月間の検査別の予定者人数を確認する帳票が印刷できること
		週間予定表	354	週間の予約台帳が印刷できること
		受付チェック用ワークシート	355	受付時に検査の実施を確認するワークシートが印刷できること
		記入用ワークシート	356	結果を記入するワークシートが印刷できること
		眼底検査ワークシート	357	眼底検査の結果を記入するワークシートが印刷できること
		放射線科用ワークシート	358	放射線検査の対象者リストが印刷できること
		検査科用ワークシート	359	生理検査の対象者リストが印刷できること
		胸部X線検査ワークシート	360	胸部X線の読影結果を記入するワークシートが印刷できること
		心電図検査ワークシート	361	心電図検査の結果を記入するワークシートが印刷できること
		検査確認用ワークシート	362	検査機器別の実施有無を確認するワークシートが印刷できること
		未入力チェックリスト	363	結果が未入力の検査項目をチェックする帳票が印刷できること
		結果発送一覧（個人別）	364	個人別に発送メモと同封物の有無を確認する帳票が印刷できること
		結果発送一覧（団体・コース別）	365	団体への結果発送に使用する帳票が印刷できること
		団体請求書発送リスト	366	団体請求時に必要な発送物を確認する帳票が印刷できること
		精密検査一覧	367	精密検査の対象者と対象となった結果を団体へ報告するための帳票が印刷できること
		特定健康診査階層化一覧	368	階層化結果の一覧表が印刷できること
		成績表（ドック）	369	人間ドックの結果票が印刷できること
		成績表（生活習慣病）	370	生活習慣病健診の結果票が印刷できること
		成績表（定期健康診断）	371	定期健康診断の結果票が印刷できること
		成績表（特定健康診査）	372	特定健康診査の厚労省指定様式が印刷できること

健診システム機能要望書

項番	分類	機能・項目	No	業務機能要件等
		成績表（婦人科）	373	子宮頸がん検診の結果票が印刷できること
		成績表（脳ドック）	374	脳ドックコースの結果が印刷できること
		健康診断個人票（5号様式）	375	定期健康診断の法定様式（5号様式）が印刷できること
		健康診断個人票（雇入時）	376	定期健康診断の法定様式（雇入時）が印刷できること
		結果一覧（ドック）	377	人間ドックの結果を一覧形式で印刷できること
		結果一覧（定期健康診断）	378	定期健康診断の結果を一覧形式で印刷できること
		結果一覧（特定健康診査）	379	特定健康診査の結果を一覧形式で印刷できること
		判定一覧	380	団体別、受診者別に判定を一覧形式で印刷できること
		結果速報	381	当日の結果説明用に検査結果を一覧で印刷できること
		請求書兼領収書	382	個人負担金の請求書兼領収書が印刷できること
		個人向け領収書	383	個人向け領収書が印刷できること
		個人負担金一覧	384	個人別の請求金額と入金金額を確認する帳票が印刷できること
		団体請求書（受診者明細）	385	団体請求書（受診者明細のみ）が印刷できること
		団体請求書（項目明細）	386	団体請求書（項目明細のみ）が印刷できること
		団体請求受診者明細	387	団体請求書（項目明細・受診者明細）が印刷できること
		再請求書	388	未収分を含めて再請求する場合に使用する帳票が印刷できること
		団体向け領収書	389	団体向けに領収書が必要な場合に使用する帳票が印刷できること
		請求チェックリスト（受診者別）	390	団体への請求時のチェック用として使用する帳票が印刷できること（受診者別）
		請求チェックリスト（請求先別）	391	団体への請求時のチェック用として使用する帳票が印刷できること（請求明細別）
		団体請求書一覧	392	団体請求書を一覧形式で出力する帳票が印刷できること（請求先別）
		団体請求書一覧（詳細）	393	団体請求書の控えとして使用する帳票が印刷できること（請求先、請求明細別）
		入金一覧	394	指定期間の入金明細として使用する帳票が印刷できること
		未収金一覧	395	指定月での未収金のある団体を集計して出力する帳票が印刷できること
		未回収金一覧	396	今日現在で未収となっている請求を出力する帳票が印刷できること
		健診者日報	397	受診者数を集計して日報を印刷できること。
		請求月報	398	請求金額と入金金額を集計して月報を印刷できること
		売上推移	399	5年間の売上推移を集計し印刷できること
		年間実績表（コース別）	400	コース、月別で健診実績を集計し印刷できること
		健診実績表（売上速報）	401	健診実績（売上見込み）を速報として集計し印刷できること
		定期健康診断結果報告書	402	労働基準監督署へ提出するための帳票が印刷できること
		案内発送ラベル【6×2】	403	案内・結果の発送に使用できる宛名ラベル（大）が印刷できること

健診システム機能要望書

項番	分類	機能・項目	No	業務機能要件等
		案内発送ラベル【6×4】	404	案内・結果の発送に使用できる宛名ラベル（小）が印刷できること
		請求書発送ラベル【長形3号】	405	宛名を長型3号封筒に印刷できること
		任意ラベル（角型2号）	406	任意で指定した個人、団体宛を封筒に印刷できること
		契約内容確認書	407	契約登録された内容（検査、負担金額）の確認帳票が印刷できること
		特定健康診査データ送付報告書	408	特定健康診査データ送付時の送付報告書が印刷できること
22	見積支援		409	見積書を作成できること。また、その内容を契約（コース）に反映できること
23	統計業務		410	受診者数統計，売上速報，判定統計などの統計情報を参照できること
			411	棒グラフ，折れ線グラフ，円グラフ等のグラフを用いた表示ができ、画面レイアウトを作成できること
			412	統計グラフをイメージファイルとして出力できること
			413	統計データをExcel等で出力できること
24	データ移行	データ移行	414	既存システムよりデータ抽出を行い、下記情報を利用可能なデータとして新システムへ移行すること
			415	現行システムより、検査項目マスタの移行ができること
			416	現行システムより、所見マスタの移行ができること
			417	現行システムより、団体マスタの移行ができること
			418	現行システムより、受診者の移行ができること
			419	現行システムより、受診歴の移行ができること
			420	現行システムより、結果の移行ができること